

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	北海道農政事務所
						増減率	基準年 ①及び⑤ 平成26～30 年の5中3平均 ②、⑥及び⑧ 平成30年 ③ 平成27～30 年の4年平均 ⑦ 平成30年～ 令和1年の2 年平均	目標年 令和6年度	達成率		
北海道	—	北海道花き振興協議会	・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり)	令和2年度	235.0	12%	209.7	158.7	-201.6%	<p>【ハウスの作付面積】 生産コストの高騰やコロナ禍における需要減による経営圧迫で規模縮小せざるを得ない生産者もあり、目標未達成となった。</p> <p>【花きの10a当たりの労働時間】 近年の生産コストの高騰等により、実証した技術の全道的な普及が進んでおらず、目標未達成となっている。</p> <p>【花きの消費金額】 夏季の高温や資材価格の高騰による園芸用品の値上がりによるガーデニング離れや生活必需品・食料品の高騰により嗜好品である花きの買い控えにより、目標未達成となっている。</p> <p>【花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量又は購入金額が増加した者の割合】 生活必需品・食料品の高騰により、購入頻度や購入金額の増加の目標は未達成となった。</p> <p>今後目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。</p>	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
			・切り花(ひまわり)		539.6	-5.5%	571.1	568.4	8.5%		
			・切り花(スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり、アルストロメリア、バラ) ・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア、ゼラニウム、パーペナ) ・鉢物(シクラメン、ポインセチア)		12,300	5.9%	11,611	10,108	-218.1%		
			・切り花(アルストロメリア、バラ)		30	30%	0	11	36.7%		
			・切り花(アルストロメリア)		14.0	10%	12.7	8.4	-330.8%		
			・切り花(アルストロメリア)		700.7	-10.8%	786.2	792.8	-7.7%		
			・花壇用苗もの(ニューギニアインパチェンス、カリブラコア、ゼラニウム、パーペナ)		5,400	16%	4,650	2,287	-315.1%		

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。